

■米国：電力会社が電気自動車購入者に対してリベートの支払いサービス開始

2017 年 7 月 17 日付の業界紙によると、バーモント州とカリフォルニア州で、電力会社が電気自動車（プラグインハイブリッド車を含む）購入者に対し、450 ドルから 1,200 ドル相当を電気料金から割引くというサービスの提供を始めた。連邦からの税額控除最大 7,500 ドルの他にも州や市からのリベートの受け取りや無料駐車場の使用权の付与など、いろいろな戦略で既に電気自動車購入が優遇されているが、電力会社が電気自動車購入者に直接リベートを支払う事例は初めてである。消費者団体は、電気自動車の購入者は富裕層であるとみており、顧客から回収する電気料金から、これら富裕層へのリベートを出すのかという批判が起こる可能性はある。今のところ、このようなリベートはまだ限定的で、電気料金に算入している電力会社は存在しない。リベートの目的は利益を上げるための戦略というよりは、気候変動対策（州が定める排出削減規制の順守のため）とのことである。